

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 19日

事業所名 ステラ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			定員や利用者の状況に合わせて 活動のスペースを確保してい ます。	
	2 職員の配置数は適切である	○			基準人員はクリアしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○			バリアフリー化されています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る		○			全職員の参画に向けて業務の分担を行って います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている		○			保護者様の意向等を全職員で共有していま す。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			○		現在のところ外部評価までは行っていま せん。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○			社内外の研修に参加してい ます。	
適切な支 援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			日々の児童の様子や保護者 様との面談を通して計画に反 映されています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	○			標準化された社内ツールを 活用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行ってい る		○			担当者職員での立案やチームでの見直しを 行っていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる		○			季節行事の工夫や新しいプログラムの検討を 随時行っていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している		○			季節や児童の滞在時間に応じた課題の設定 を行っていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している		○			集団活動をベースにしながら個別の課題も組 み合わせていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している		○			連絡事項の確認以外に日々のミーティングを 取り入れていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している		○			日々のルーティンに取り入れていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている		○			支援の改善に繋がる様な記述に努めていきま す。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる			○		定期的なモニタリング会議を開催していきま す。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	○			創作や外出活動を行ってい ます。		
関係機 関や保 護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○			適任者が参画しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている		○			学校のホームページでの確認や担任との情 報交換を随時行っていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			○		現在、医療的ケア児童の受け入れは体制が 整っていません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている			○		今後より検討していきます。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			必要に応じて提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		今後より検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			地域の交流センターを積極的に利用させて頂いています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		必要に応じて検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				面接時や送迎の際に伝達しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		今後より検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約時に書面にて説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				送迎時やSNS、面談での対応を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		今後より検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情受付窓口の設置、苦情解決責任者の配置がされています。ご契約時には苦情受付体制や、有事の際の連絡、その他の対応についても説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				毎月、会報を発行し活動内容の結果や予定をお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	○				取り扱いについては職員間で周知、徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○			今後より工夫していきます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		今後より検討していきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			保護者様への周知には至っていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○			定期消防訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			○		研修会等への参加に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			個別の対応策については職員間で共有し、対象児童については保護者様との話し合いを行って記録に残し、計画に反映させていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				利用開始時に保護者様より情報を頂き、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○			随時共有していけるように努めています。